

地域公共交通会議の役割と 地域住民が育てる公共交通



地域公共交通会議の役割

■ 地域公共交通会議

**「住民・事業者・行政が知恵を出し合って
持続可能な公共交通のあり方を考える」**

- ・ 路線の廃止や減便のための会議ではなく
- ・ 地域の持続可能な公共交通について考える

⇒ ■ 要望の場ではない

■ 自分ごととして「何ができるか」考える

地域公共交通会議の役割

- クルマの利用を否定するものではありません

あくまでも

「過度にクルマに依存しない」

ライフスタイルを考える



自分ごととして考える公共交通

■ 自己の移動に関する利益の最大化を目指すと
「クルマがいい」「ドアtoドアの無料のタクシー」
になる

■ 地域の移動に関する最適化を考える

- ・ ある程度の折り合いをつけるからこそ1台で多くの人
が利用 ⇒ 低額な運賃で利用できる
- ・ 長くクルマばかりを利用していると折り合いがつけ
られなくなる

「移動」は私たちの生活で欠かせない

■ 私たちは

「いかにして楽に移動するか」 考えている

≡ コストを最小限・効用を最大限にしたい！

- 「使うお金」「必要な体力」「移動時間」
を最小にしたい
- 移動して得られるメリットを最大にしたい

「移動」は私たちの生活で欠かせない

- 個人の利益の最大化を実現するには
「クルマしかない」と錯覚 している
(させられている)
- 個人の利益の最大化ばかりを目指すと
 - ・ 社会全体に歪みが生じる
 - 例) みんながクルマを使うと渋滞が発生する
 - ・ クルマによって移動が楽になるけれども
「維持費がかかる」
「健康にマイナスの影響がでる」

公共交通の現状

人口が減少して税収が減っていくのに
医療や年金の負担が増えるのがこれからの日本

**「みんなの希望のなかで折り合いがついて」
「より多くの目的地がまとまる」
⇒公共交通として成立**

■ 利用者が減少すると減便・廃止に

公共交通の現状

- 乗務員や整備士など人手不足
⇒補助金をもらっても運行できない
- 行政の補助で支えるにも予算の限界がある
※利用は少なくとも「地域にとって大切なインフラ」と議会の理解が得られればある程度の予算の増額は可能
- 公共交通会議では委員ひとりひとりの公共交通の誤解を解いて周囲の人に広めることも大切

お願い！バス博士！



Q.
将来クルマに乗れなくなった時に必要だからバスを残して

A. 安心してください 乗れません

15kmの往復移動で公共交通はクルマの2倍もカロリーを消費するんじゃ

クルマに乗れない体力でバスに乗れるわけがなからう

健康余命をのばすには、クルマだけに頼らないで徒歩や自転車、公共交通を使うことじゃよ

ちなみに、アンケートを取ると全世代が「クルマに乗れなくなった時にバスを使いたい」の回答率が高いがいつ乗る気じゃろう

実際、ワシが20年前に調査した地域では70台以上の人は断トツの回答だったがバスの利用者は増加していない、むしろ減ってるぞ



クルマと「お金」



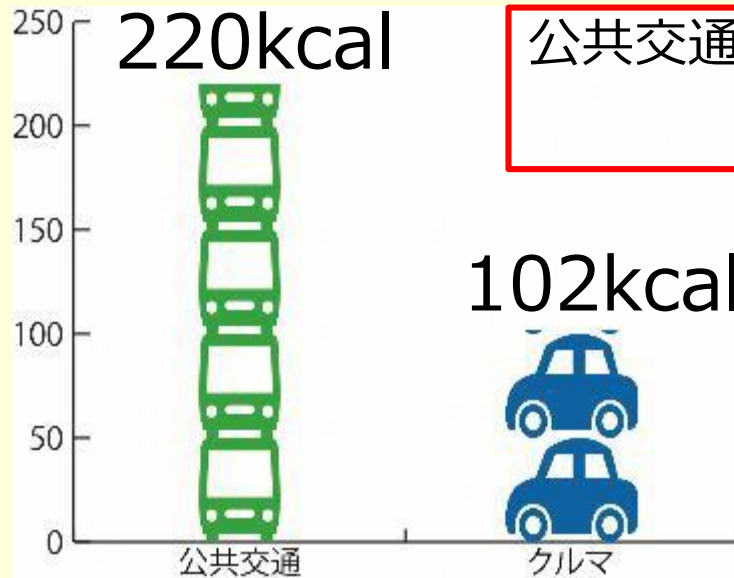
- 1000ccのトヨタビッツ (安い、小さな、燃費の良いクルマ)
- **持ってるだけで 1日 1,150円**
- **かなり節約して乗って 1日 1,500円**
- **普通に乗って 1日 2,000円以上**

毎日クルマを使わないなら
タクシーや公共交通の方がおトクになる人も

クルマと「健康」



- ・ 往復15kmの移動をすると・・・



公共交通の移動による消費カロリーは
クルマの約2倍

移動にともなう消費カロリー (kcal)

■ **クルマの運転は公共交通の移動よりも「楽」**
ということは・・・

クルマと移動の誤解

- ・クルマが運転できなくなった⇒体力がないから
ですので **バス・電車にも乗れないのです**
- ・クルマがあるからバスを使わない
クルマに乗れなくなった時にバスを使おう
少なくとも **「バス・電車には乗れません」**



公共交通に乗れない？

- ・免許証返納者に対するアンケート(2019)
- 免許証返納前に**
- ・クルマだけの移動だった人
 - ・クルマ+公共交通も利用していた人

「免許証返納後の外出頻度に違いがあった」

公共交通に乗れない？

- ・ 免許証を返納しても
「公共交通の乗り方を知らない」と移動できない

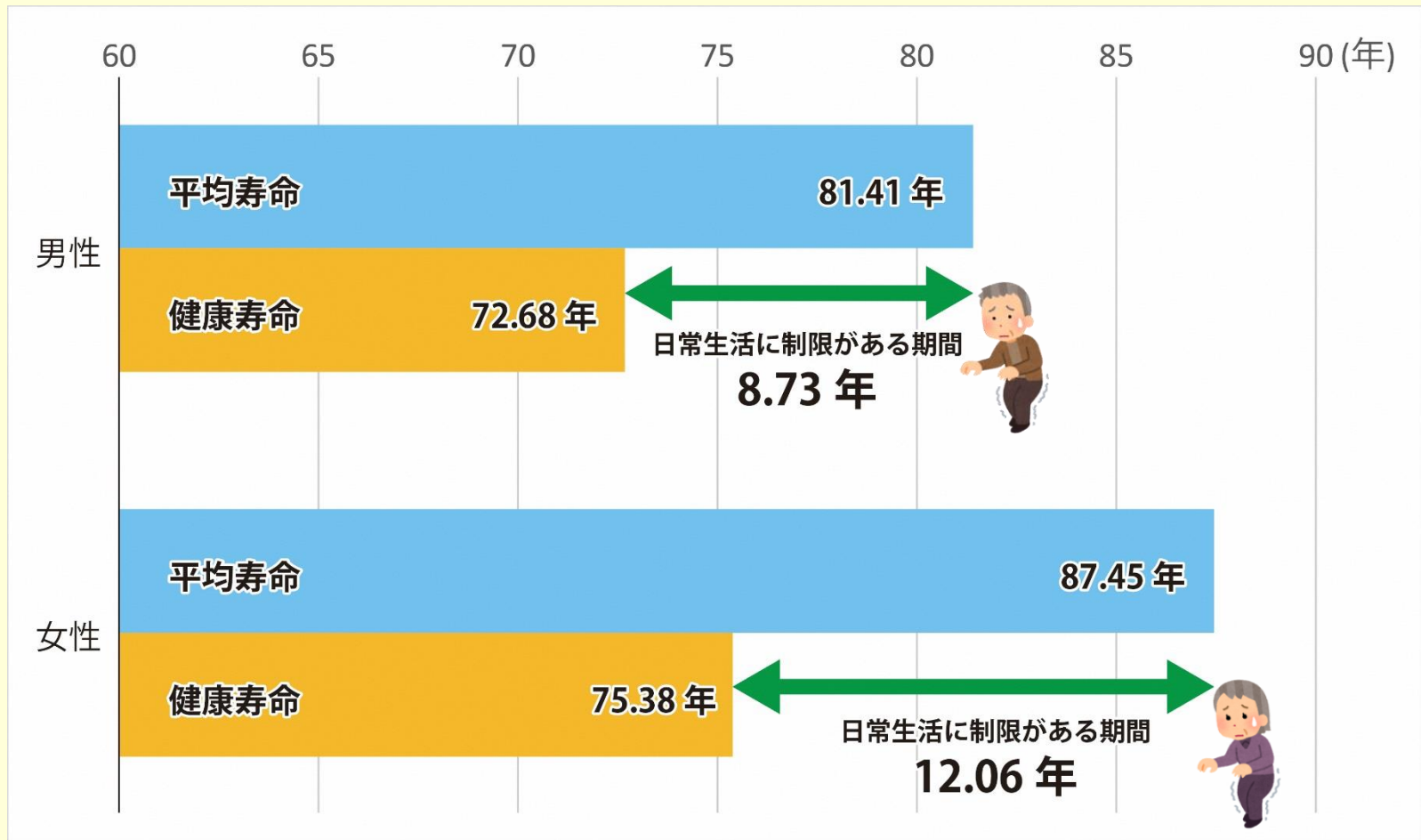
クルマ以外の移動方法を知らないから引きこもり

- ・ **公共交通の使い方を知っている人は免許証返納後の外出が増加 ⇒ 充実した生活に**

健康寿命を延ばす

平均寿命…0歳における平均余命

健康寿命…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間



健康寿命を延ばす

フレイル…高齢になって体や心の働き、社会との関係が弱くなった状態
⇒要介護状態になる可能性

■フレイル予防3つのポイント

・ 食事の改善



・ 趣味やボランティア活動



・ 運動



■クルマを控えた移動も運動です

どうしたらいいのでしょうか

■ 公共交通を学び理解を深める



■ 公共交通を使ったお出かけ体験会



■ 公共交通の利用方法を他の人にも伝える

**⇒ 運転免許証返納前の
公共交通のお出かけ体験は重要**

バスの待ち時間のすごし方を見つけましょう

- バスの本数を増やす
- 運賃を値下げする ⇒ほとんど利用者は増えません
それよりもバスや鉄道を待っている時間が過ごせないから
苦痛なのです
- 公共施設や商業施設がバス待ち環境に最適です
- バスや鉄道の待ち時間を過ごせる場所や
方法を見つけましょう

新しいライフスタイルに向けて

「乗ってみたら**意外と便利**！」

世代を問わず聞かれる感想です